

# 島根県の経済動向

統 第 8 0 号 の 9  
平成 2 8 年 1 月 8 日

平成 2 7 年 1 0 月 分

政策企画局統計調査課

一 島根県の経済は、一部に弱い動きがみられるものの、  
引き続き緩やかな持ち直しの動きとなっている一

生産活動は持ち直しの動きに足踏みがみられる。雇用情勢は緩やかな改善の動きが続いている。個人消費は持ち直しの兆しがみられる。投資動向は持ち直しているが、このところ弱い動きがみられる。

生産活動	⇒	～持ち直しの動きに足踏み～	鉱工業生産指数（季節調整済指数）は110.9で前月比で2.1%低下した。前年比は▲3.1%と2か月連続で下回った。大口電力需要実績は▲1.4%と2か月連続で前年を下回った。 生産活動は、持ち直しの動きに足踏みがみられる。
雇用情勢	⇒	～緩やかな改善の動き～	雇用面は、有効求人倍率は1.34倍で前月より0.02ポイント上昇し、新規求人数は17.1%と4か月連続で前年を上回った。所得面は、現金給与総額は▲0.5%と3か月ぶりに前年を下回り、きまって支給する給与は0.4%と10か月ぶりに前年を上回った。 雇用面は、緩やかな改善の動きが続いているが、所得面は、弱い動きがみられる。
個人消費	⇒	～持ち直しの兆し～	百貨店・スーパー販売額は2.3%と2ヶ月連続で、ホームセンター販売額は3.2%と7ヶ月連続で前年を上回った。家電大型専門店販売額は▲3.5%と2ヶ月連続で、新車登録台数は▲12.1%と10か月連続で前年を下回った。 個人消費は、持ち直しの兆しがみられる。
投資動向	⇒	～持ち直している～	建築着工床面積（非居住用）は3.7%と3か月ぶりに前年を上回った。公共工事請負金額は▲6.3%と11か月連続で前年を下回った。新設住宅着工戸数は5.0%と4か月連続で前年を上回った。 投資動向は、持ち直しているが、このところ弱い動きがみられる。
企業倒産	⇒	～倒産件数4件～	企業倒産件数は4件。うち製造業は2件、小売業は1件、運輸業は1件。
金融情勢	⇒	～貸出金残高は対前年2.4%増～	銀行預金残高は88か月連続で前年を上回った。 銀行貸出金残高は62か月連続で前年を上回った。
物 価	⇒	～対前年0.1%下落～	消費者物価指数（生鮮食品を除く総合指数）は103.4となり、前年比は0.1%の下落となった。
その他 (参考)	島根県景気動向指数（CI） （平成28年1月8日公表）		CI先行指数は65.5となり、2か月連続の下降となった。 CI一致指数は103.1となり、2か月連続の下降となった。
	法人企業景気予測調査結果 （平成27年12月10日公表）		財務省松江財務事務所が公表した景況判断BSIは、現状（27年10～12月期）は、17.5ポイントと「上昇」超幅が拡大している。 27年度の設備投資計画は、前年度比27.8%の増加見込みとなっている。（製造業 32.3%、非製造業 14.7%）

経済指標	前年同月比（%） ただし*は除く。						
	5月	6月	7月	8月	9月	10月	
生産活動	* 鉱工業生産指数（季節調整済指数）	108.1	113.7	111.4	114.0	113.3	110.9
	（原指数）	▲11.3	▲0.6	▲3.3	0.5	▲0.9	▲3.1
	大口電力需要実績	▲4.1	1.5	0.5	4.3	▲1.3	▲1.4
雇用情勢	* 有効求人倍率（倍）	1.23	1.21	1.27	1.30	1.32	1.34
	新規求人数	▲8.6	▲0.1	12.2	2.4	1.1	17.1
	常用労働者数	1.8	2.1	2.4	2.2	2.3	1.6
	現金給与総額	▲2.5	▲0.6	▲5.3	0.3	1.9	▲0.5
	きまって支給する給与	▲2.2	▲1.9	0.0	▲0.7	▲1.1	0.4
	所定外労働時間（製造業）	▲0.6	0.4	▲11.8	▲1.4	1.4	1.9
個人消費	百貨店・スーパー販売額	2.5	▲4.3	▲4.3	▲3.6	4.7	2.3
	ホームセンター販売額	4.8	0.8	1.9	5.0	0.2	3.2
	家電大型専門店販売額	11.6	▲8.0	1.4	22.5	▲2.9	▲3.5
	乗用車新車登録台数	▲12.7	▲6.6	▲7.3	▲4.5	▲8.3	▲12.1
	出雲空港利用者数	3.7	7.4	7.4	5.7	14.6	11.2
投資動向	建築着工床面積（非居住用）	▲51.0	5.1	6.5	▲49.8	▲60.1	3.7
	公共工事請負金額	▲46.3	▲0.3	▲3.7	▲29.3	▲1.5	▲6.3
	新設住宅着工戸数	▲15.3	▲11.2	7.2	4.5	22.1	5.0
企業倒産	* 企業倒産件数（件）	7	2	5	2	5	4
	* 負債総額（百万円）	3,293	410	105	311	172	1,232
金融情勢	銀行預金残高	1.9	2.0	1.8	1.6	1.9	2.4
	銀行貸出金残高	5.2	4.1	3.6	3.5	3.3	2.4
物 価	* 消費者物価指数（生鮮食品を除く総合）	103.4	103.8	103.7	103.3	103.5	103.4
その他	* 景気動向指数（CI先行指数）	70.0	72.1	65.3	68.1	67.1	65.5
	* 景気動向指数（CI一致指数）	103.8	108.6	106.9	108.1	107.0	103.1

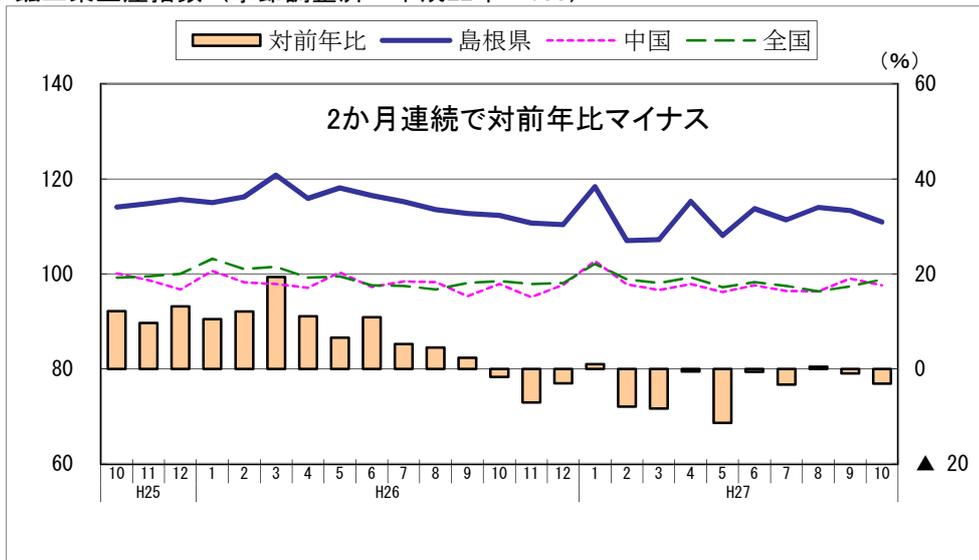
## 経済動向に関する他機関の公表資料（抜粋）

全 国	「月例経済報告（内閣府）」平成27年12月21日											
	<p>景気は、このところ一部に弱さもみられるが、緩やかな回復基調が続いている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 個人消費は、総じてみれば底堅い動きとなっている。</li> <li>・ 設備投資は、おおむね横ばいとなっている。</li> <li>・ 輸出は、弱含んでいる。</li> <li>・ 生産は、このところ弱含んでいる。</li> <li>・ 企業収益は、改善している。企業の業況判断は、一部に慎重さがみられるものの、おおむね横ばいとなっている。</li> <li>・ 雇用情勢は、改善している。</li> <li>・ 消費者物価は、緩やかに上昇している。</li> </ul> <p>先行きについては、雇用・所得環境の改善が続くなかで、各種政策の効果もあって、緩やかな回復に向かうことが期待される。ただし、アメリカの金融政策の正常化が進むなか、中国を始めとするアジア新興国等の景気が下振れし、我が国の景気が下押しされるリスクがある。</p>											
中 国 地 方	「中国地域の経済動向（中国経済産業局）」 平成27年12月17日											
	<p>～ 持ち直している ～</p> <p>中国地域の経済は、雇用や設備投資に良い動き、個人消費に持ち直しの動きがみられ、景況感は現状、先行きともに上昇しており、持ち直している。</p> <table border="0"> <tr> <td>1. 生産動向…横ばい</td> <td>7. 建設動向…公共工事、住宅建設ともに増加</td> </tr> <tr> <td>2. 景況感…現状、先行きともに上昇</td> <td>8. 雇用動向…有効求人倍率は低下</td> </tr> <tr> <td>3. 産業用電力需要…減少</td> <td>9. 企業倒産…件数は減少、負債額は増加</td> </tr> <tr> <td>4. 物 価…消費者物価は上昇、企業物価は下落</td> <td>10. 貿 易…輸出、輸入ともに減少</td> </tr> <tr> <td>5. 個人消費…持ち直しの動き</td> <td></td> </tr> <tr> <td>6. 設備投資…前年度を上回る見込み</td> <td></td> </tr> </table>	1. 生産動向…横ばい	7. 建設動向…公共工事、住宅建設ともに増加	2. 景況感…現状、先行きともに上昇	8. 雇用動向…有効求人倍率は低下	3. 産業用電力需要…減少	9. 企業倒産…件数は減少、負債額は増加	4. 物 価…消費者物価は上昇、企業物価は下落	10. 貿 易…輸出、輸入ともに減少	5. 個人消費…持ち直しの動き		6. 設備投資…前年度を上回る見込み
1. 生産動向…横ばい	7. 建設動向…公共工事、住宅建設ともに増加											
2. 景況感…現状、先行きともに上昇	8. 雇用動向…有効求人倍率は低下											
3. 産業用電力需要…減少	9. 企業倒産…件数は減少、負債額は増加											
4. 物 価…消費者物価は上昇、企業物価は下落	10. 貿 易…輸出、輸入ともに減少											
5. 個人消費…持ち直しの動き												
6. 設備投資…前年度を上回る見込み												
山 陰 地 方	「山陰の金融経済動向（日本銀行松江支店）」 2015年12月14日											
	<p>山陰の景気は、緩やかな回復を続けている。最終需要をみると、個人消費は、勢いを欠く面もみられるが、雇用・所得環境の着実な改善を背景に、全体としては底堅く推移している。住宅投資は、足もとでは持ち直しの動きに一服感がみられる。設備投資は、企業収益が改善するもとで増加している。一方、公共投資は減少している。こうした需要動向のもとで、生産は、振れを伴いつつも持ち直している。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 個人消費は、勢いを欠く面もみられるが、全体としては底堅く推移している。</li> <li>・ 住宅投資は、足もとでは持ち直しの動きに一服感がみられる。</li> <li>・ 設備投資は、企業収益が改善するもとで、増加している。</li> <li>・ 公共投資は減少している。</li> <li>・ 生産は、振れを伴いつつも持ち直している。</li> <li>・ 雇用・所得環境は着実に改善している。</li> </ul>											
山 陰 地 方	「山陰経済動向（山陰経済経営研究所）」 2015年12月28日											
	<p>生産活動に足踏み感はあるものの、設備投資に前向きの動きが出ており、個人消費の一部では持ち直しの動きもみられ、雇用情勢が改善傾向にあるなど、基調としては緩やかに持ち直している。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 公共投資は、総じて弱い動きとなっている。</li> <li>・ 設備投資は、2015年度は、製造業、非製造業ともに前年度を上回る計画（日銀短観12月調査の全産業設備投資額は、2014年度実績対前年度比7.4%増、2015年度計画同25.6%増）。</li> <li>・ 住宅建設は、駆け込み需要の反動による影響は和らいでいるものの、貸家を中心とした持ち直しの動きに一服感がみられる。</li> <li>・ 個人消費は、一部では持ち直しの動きもみられる。</li> <li>・ 生産は、業種間でバラツキがみられるものの、総じて横ばい圏内で推移している。</li> <li>・ 雇用情勢は、緩やかに改善している。</li> <li>・ 企業の業況判断は、足元、製造業は悪化したものの、非製造業が改善し、全産業でも改善となった(前回9月調査4→今回6)。先行きについては、製造業、非製造業ともに悪化を見込んでおり、全産業でも悪化する見通しとなっている（日銀短観12月調査）。</li> </ul>											
島 根 県	「島根県の経済情勢（財務省松江財務事務所）」平成27年10月28日（四半期ごとに公表）											
	<p>県内経済は、緩やかに持ち直している。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 個人消費 緩やかな持ち直しの動きが続いている</li> <li>・ 生産活動 一部に弱さがみられるものの、引き続き持ち直している</li> <li>・ 雇用情勢 改善している</li> <li>・ 公共事業 前年度を下回っている</li> <li>・ 設備投資 27年度は増加見通し</li> <li>・ 企業収益 27年度は減益見通し</li> </ul>											

# 経済指標の推移

## 【生産活動】 ～持ち直しの動きに足踏み～

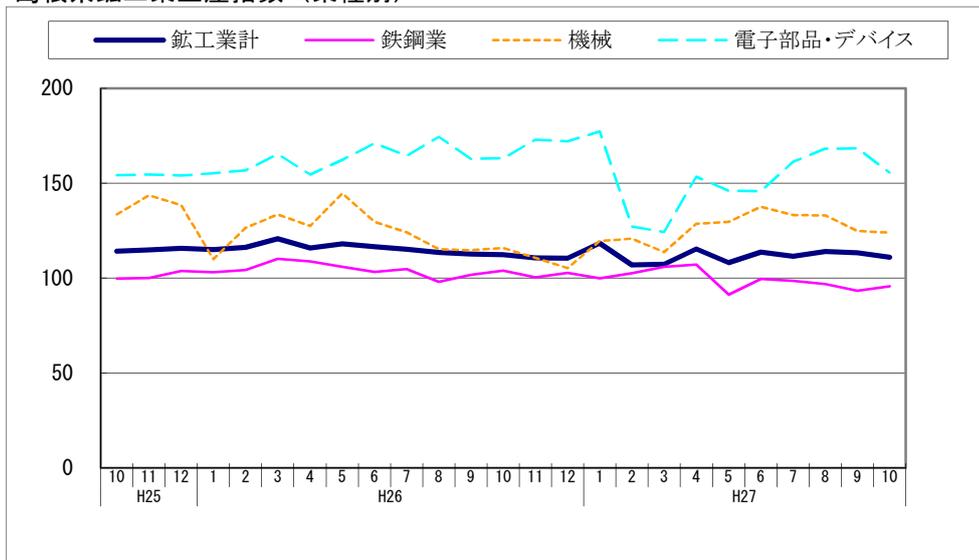
鉱工業生産指数（季節調整済 平成22年=100）



(注) 対前年比は、島根県の原指数

(県統計調査課、経済産業省)

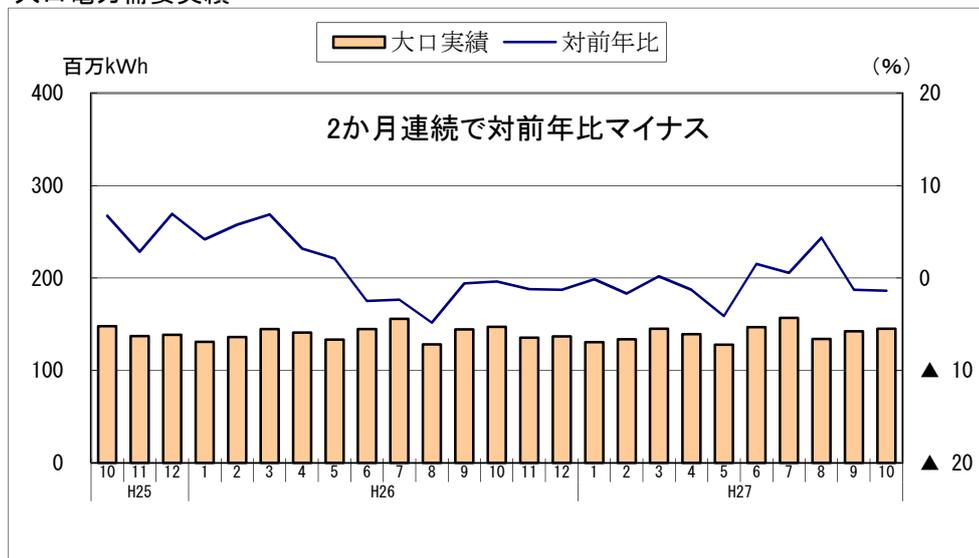
島根県鉱工業生産指数（業種別）



(注) 機械とは、はん用・生産用・業務用機械工業である

(県統計調査課)

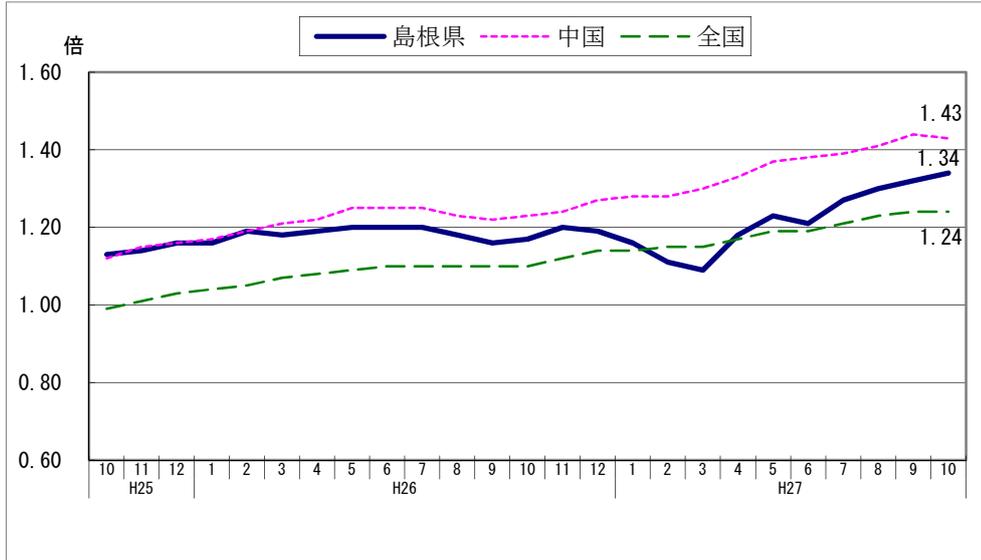
大口電力需要実績



(中国電力株)

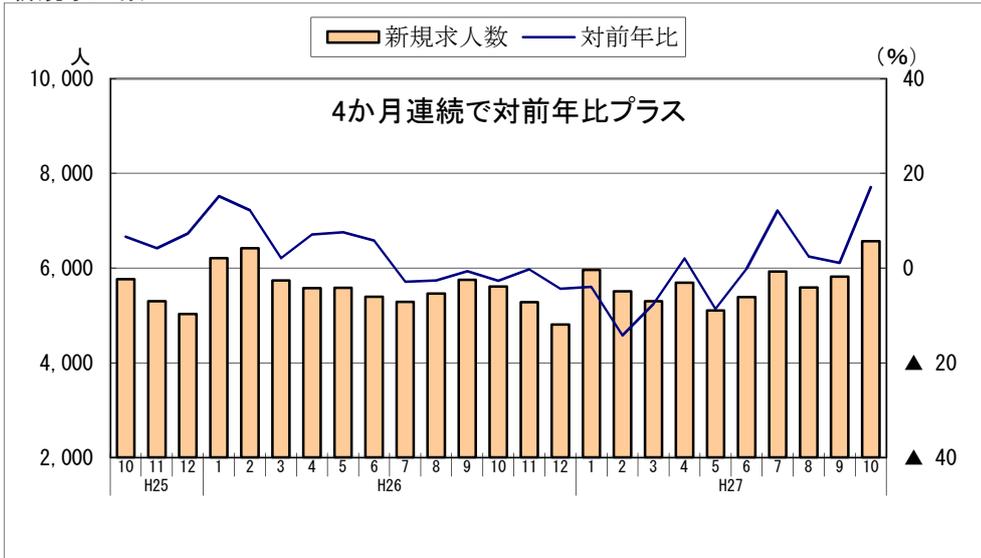
【雇用情勢】 ～緩やかな改善の動き～

有効求人倍率（学卒を除き、パートを含む）



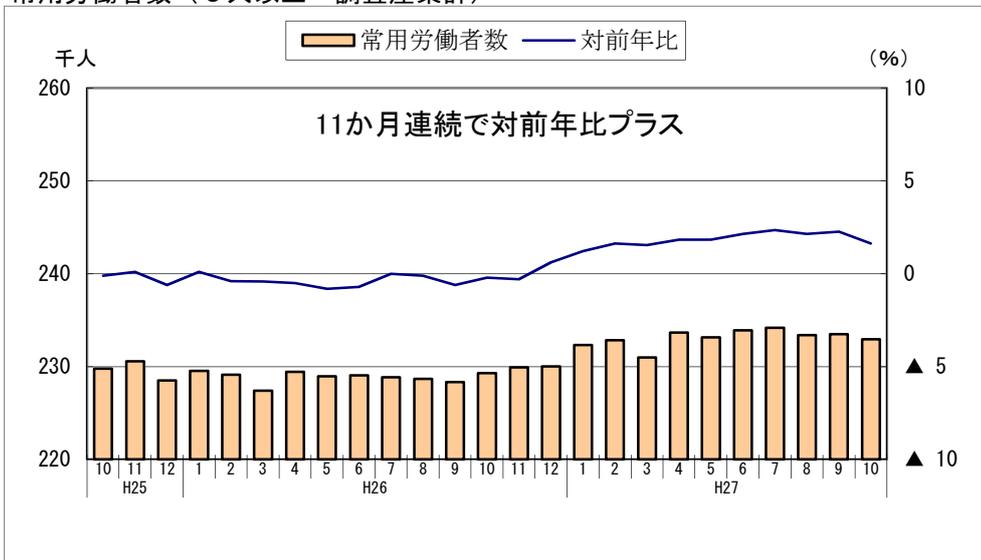
(厚生労働省)

新規求人数



(島根労働局)

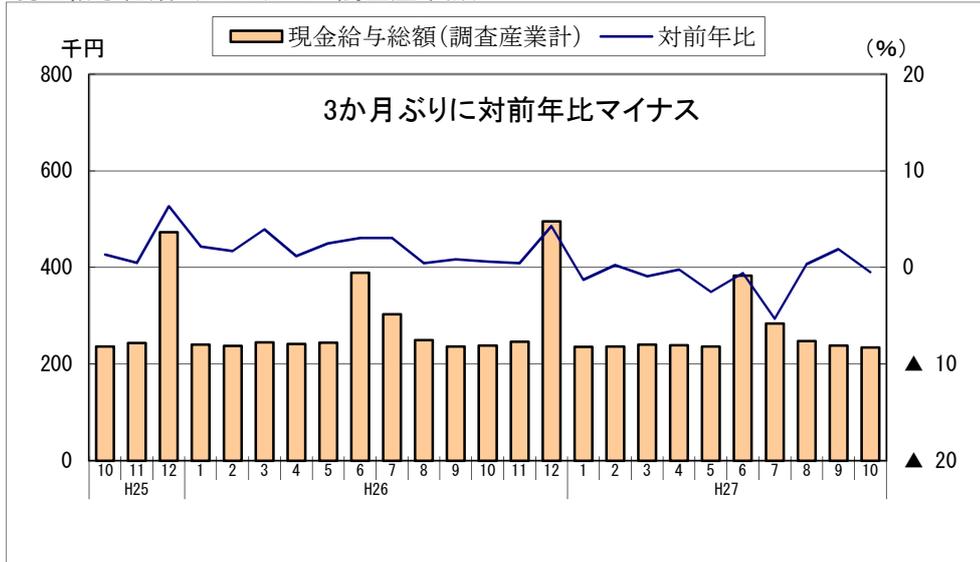
常用労働者数（5人以上・調査産業計）



(県統計調査課)

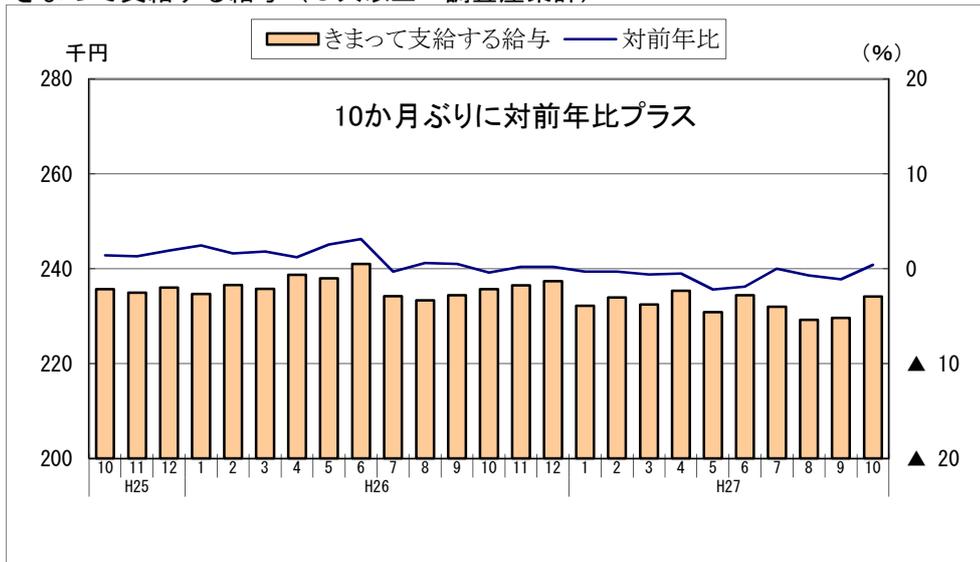
【雇用情勢】 ～緩やかな改善の動き～

現金給与総額（5人以上・調査産業計）



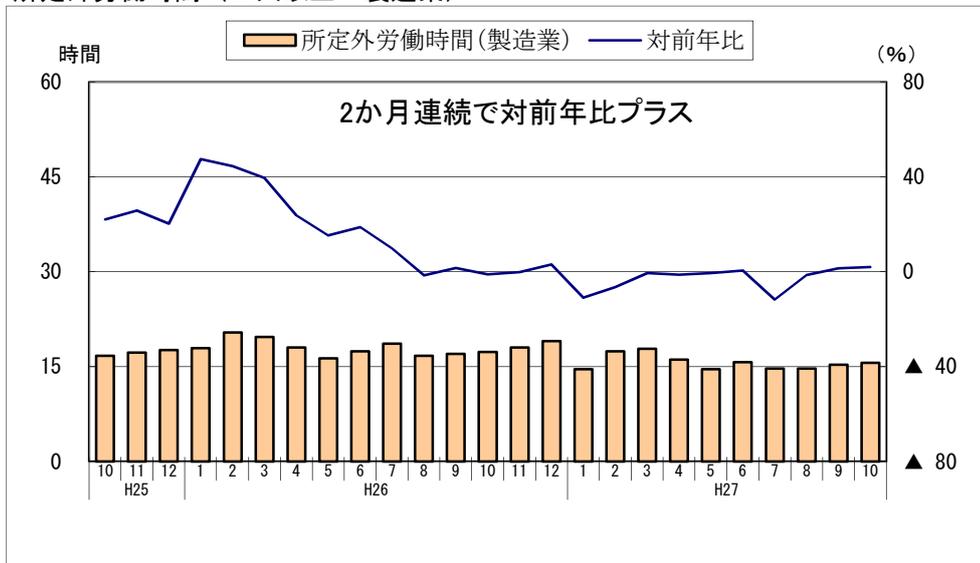
(県統計調査課)

きまって支給する給与（5人以上・調査産業計）



(県統計調査課)

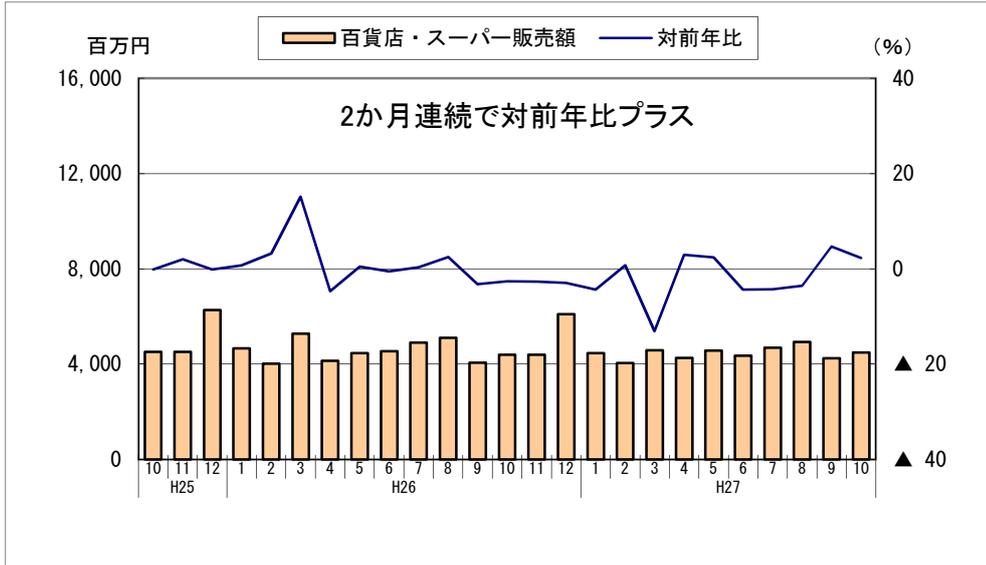
所定外労働時間（5人以上・製造業）



(県統計調査課)

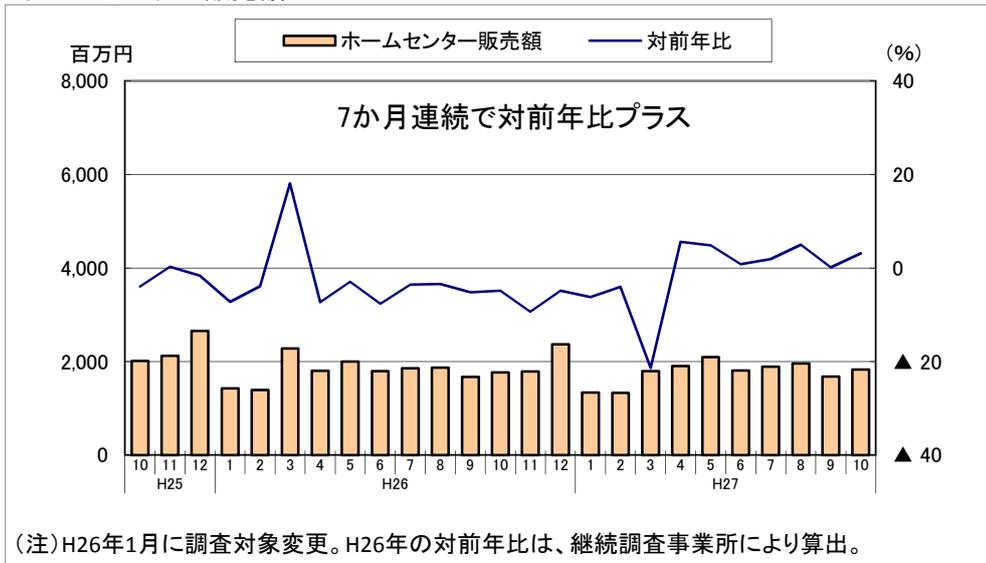
【 個人消費 】 ～持ち直しの兆し～

百貨店・スーパー販売額



(中国経済産業局)

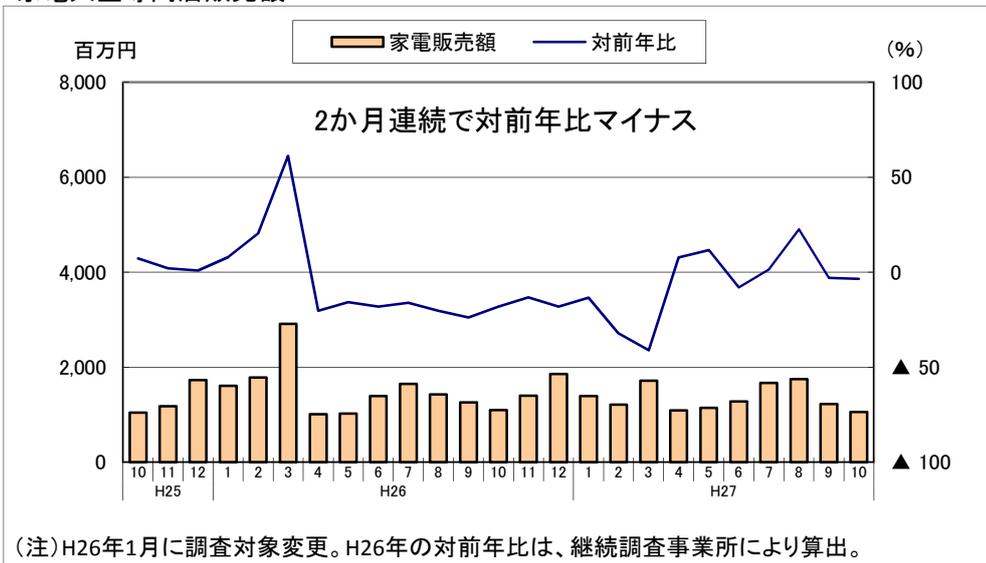
ホームセンター販売額



(注) H26年1月に調査対象変更。H26年の対前年比は、継続調査事業所により算出。

(中国経済産業局)

家電大型専門店販売額

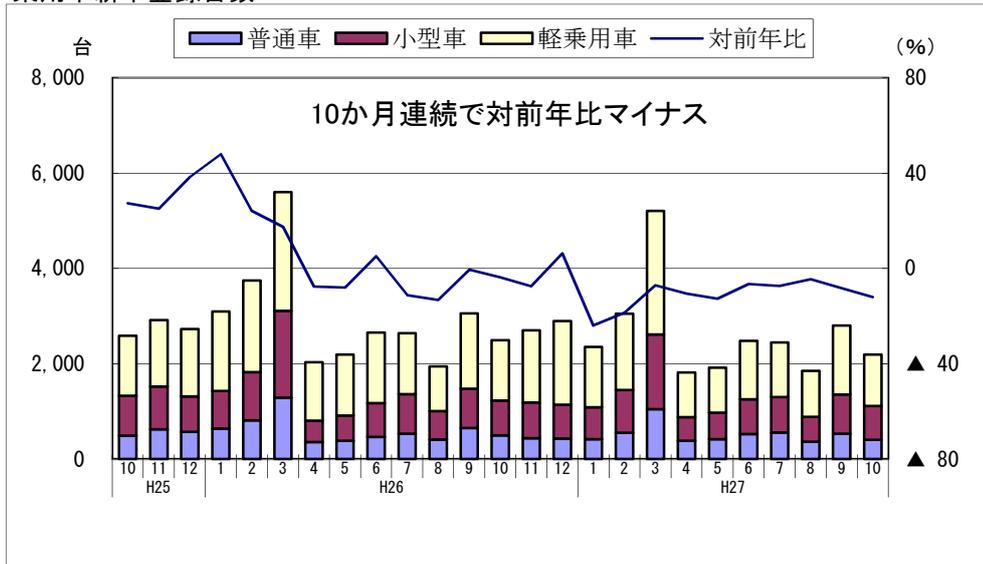


(注) H26年1月に調査対象変更。H26年の対前年比は、継続調査事業所により算出。

(中国経済産業局)

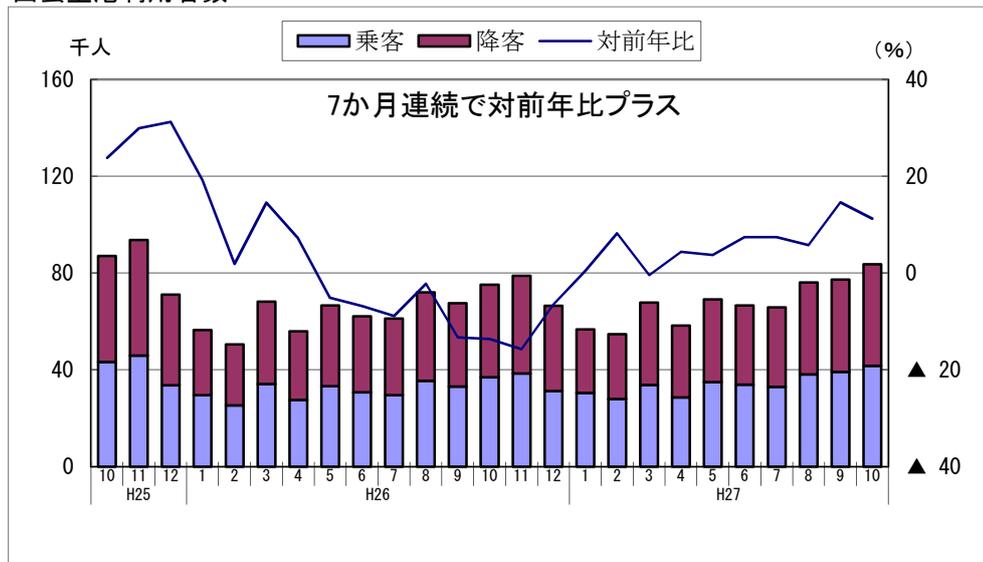
【 個人消費 】 ～持ち直しの兆し～

乗用車新車登録台数



(中国運輸局)

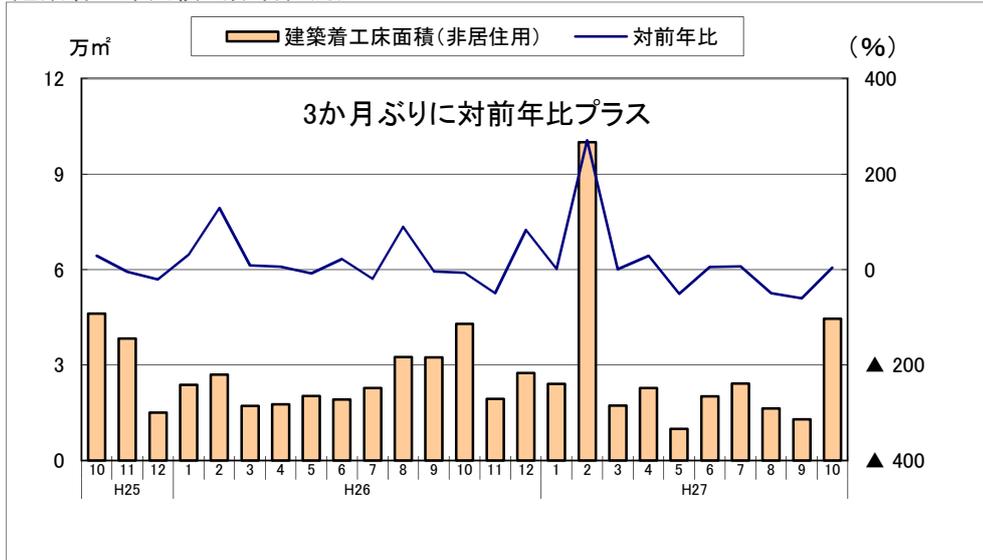
出雲空港利用者数



(県港湾空港課)

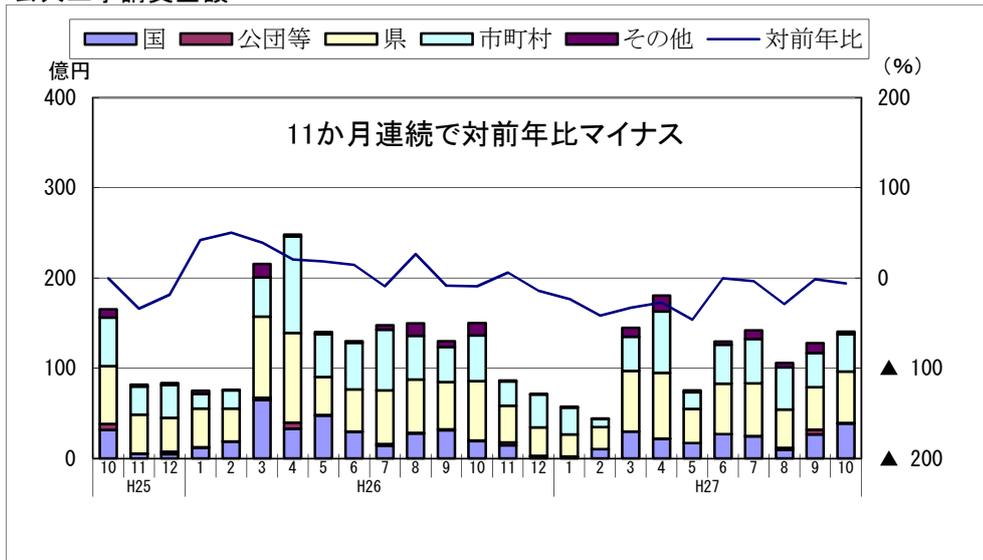
【 投資動向 】 ～持ち直している～

建築着工床面積（非居住用）



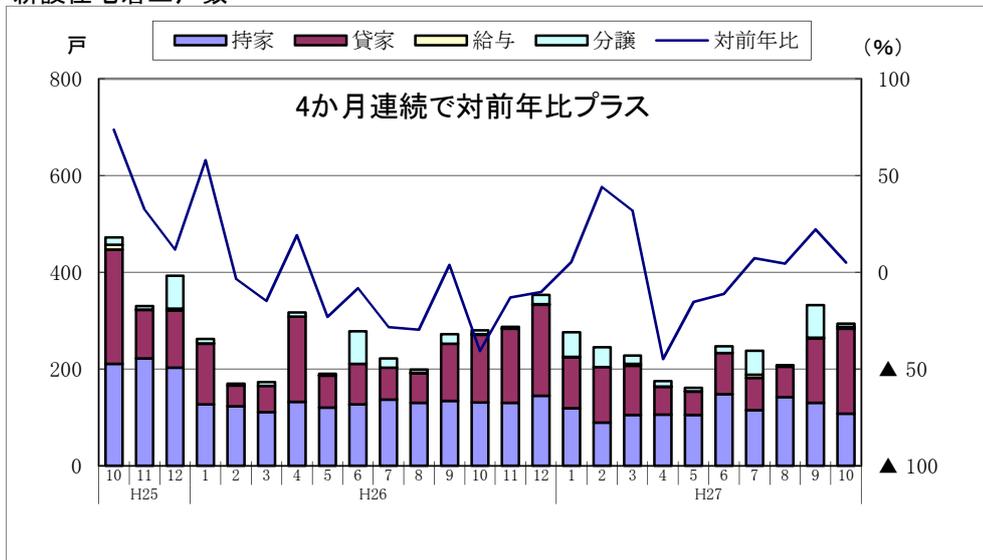
(国土交通省)

公共工事請負金額



(西日本建設業保証株)

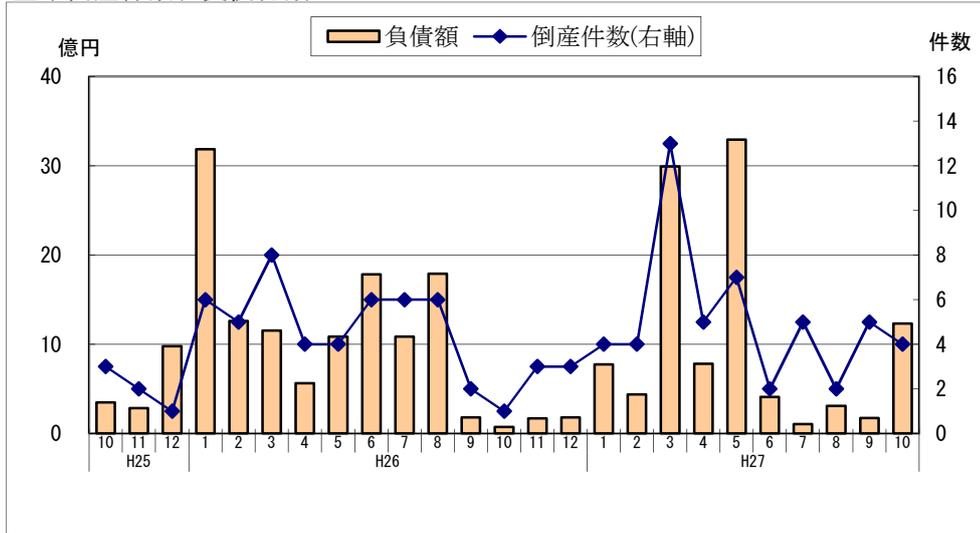
新設住宅着工戸数



(国土交通省)

【 企業倒産 】 ～倒産件数 4 件～

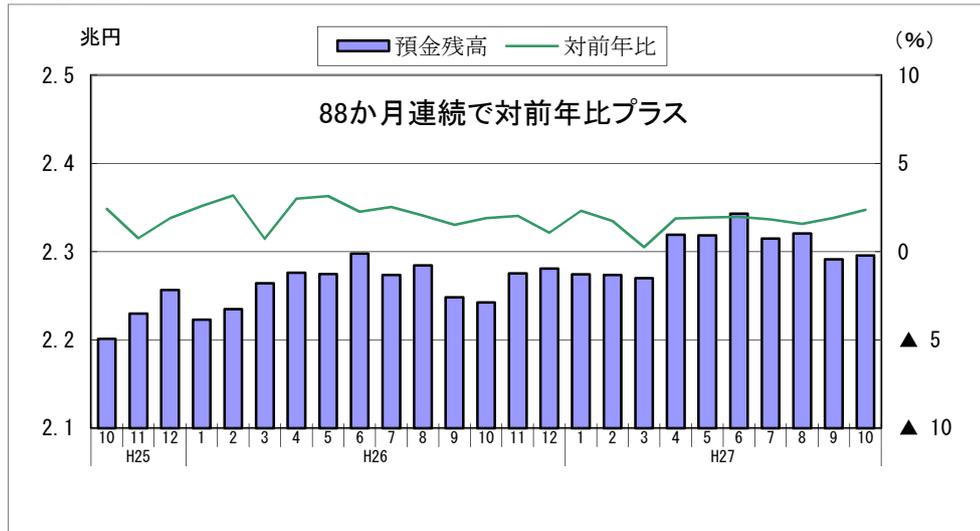
企業倒産件数、負債総額



(株東京商工リサーチ)

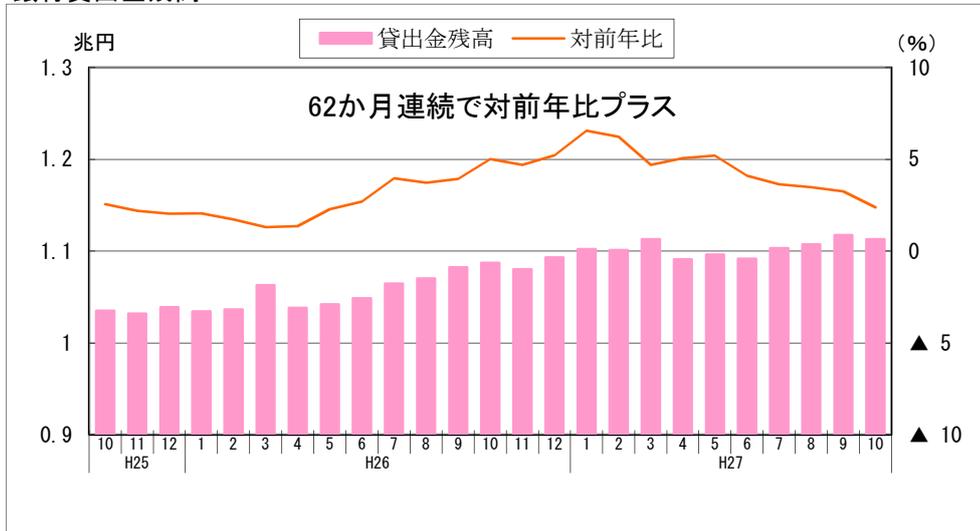
【 金融情勢 】 ～貸出金残高は対前年2.4%増～

銀行預金残高



(日本銀行)

銀行貸出金残高

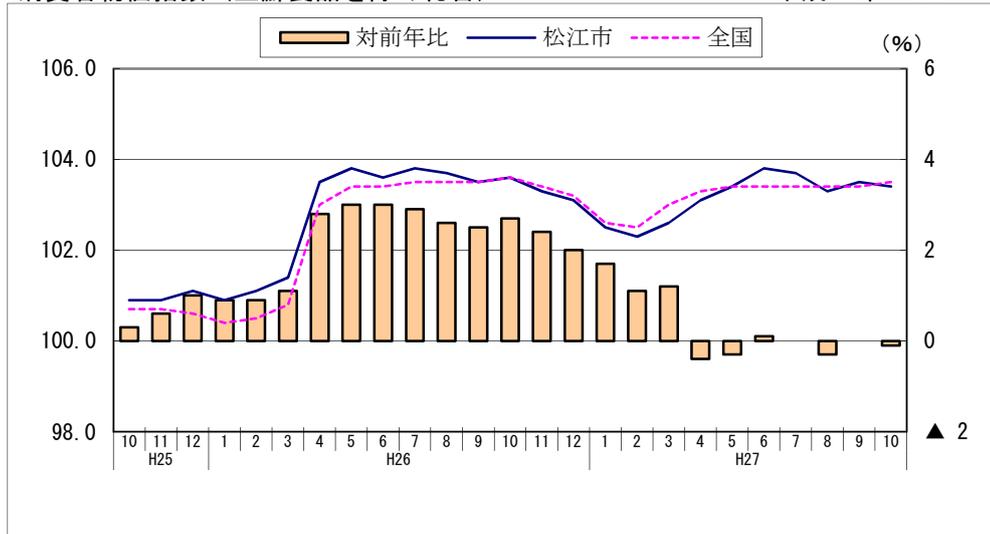


(日本銀行)

【物 価】 ～対前年0.1%下落～

消費者物価指数（生鮮食品を除く総合）

平成22年=100

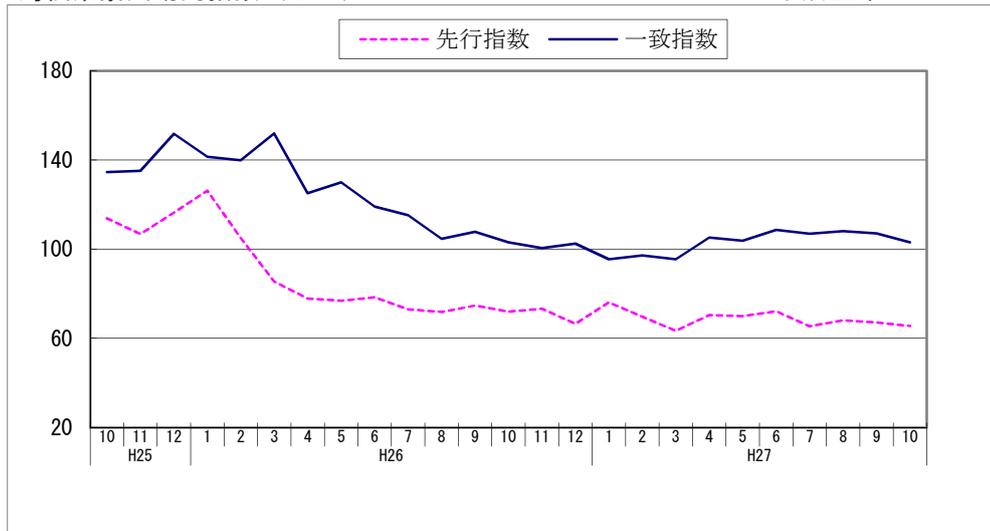


(総務省統計局)

その他(参考)

島根県景気動向指数 (C I)

平成22年=100



(県統計調査課)

法人企業景気予測調査結果（平成27年12月10日 財務省松江財務事務所）  
平成27年10～12月期調査

景況判断BSI

(BSI：前期比判断「上昇」－「下降」社数構成比)

(%ポイント)

区 分	27年7～9月 前回調査	27年10～12月 今回調査	28年1～3月 見 通 し	28年4～6月 見 通 し
全 産 業	7.6	( 9.5) 17.5	( ▲1.0) ▲ 13.6	▲ 10.7
製 造 業	▲ 5.1	( 23.1) 25.6	( 5.1) 0.0	▲ 17.9
非製造業	15.2	( 1.5) 12.5	( ▲4.5) ▲ 21.9	▲ 6.3
大 企 業	0.0	( 0.0) ▲ 28.6	( 0.0) ▲ 14.3	▲ 14.3
中堅企業	7.1	( 2.4) 21.4	( ▲9.5) ▲ 26.2	▲ 4.8
中小企業	9.1	( 16.4) 20.4	( 5.5) ▲ 3.7	▲ 14.8

※ ( ) 書きは、前回 (27年7～9月期) 調査時の見通し